

事業の目的

都市計画道路3・2・2号内環状線は、青森都市圏における骨格道路網の一翼を担う路線であり、流入する交通を市街地内に円滑に分散誘導する主要幹線道路です。

このうち、石江工区は、3・2・2号内環状線三内工区(平成17年5月開通)の延伸として、JR奥羽本線と立体で交差し、国道7号青森西バイパスに至ります。

石江工区の開通により、東北新幹線新青森駅と東北自動車道青森ICやフェリー埠頭などの交通拠点をはじめ、三内丸山遺跡や県立美術館といった観光拠点とのアクセスが向上することにより、交流人口の増加による観光や産業・経済の活性化が期待されます。

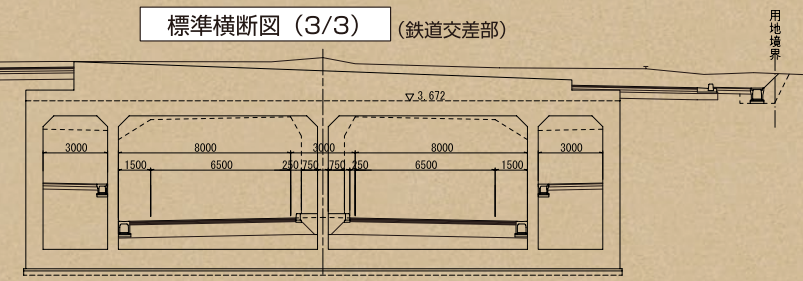
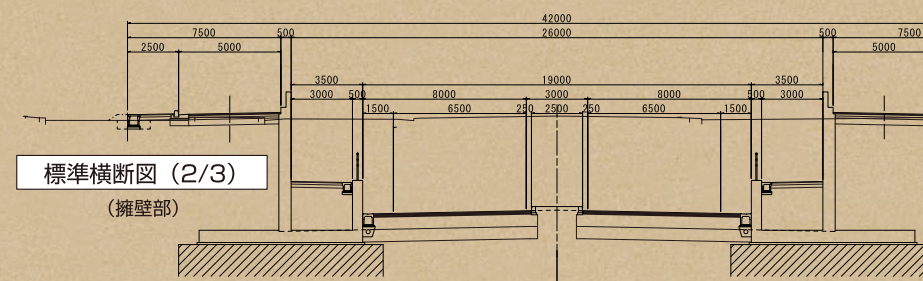
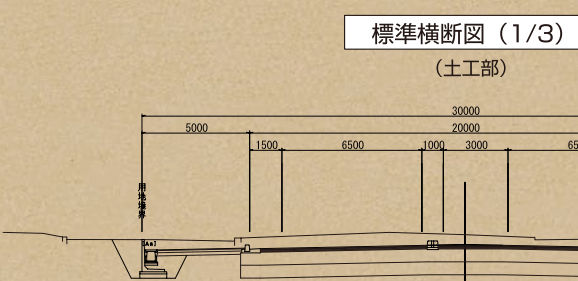
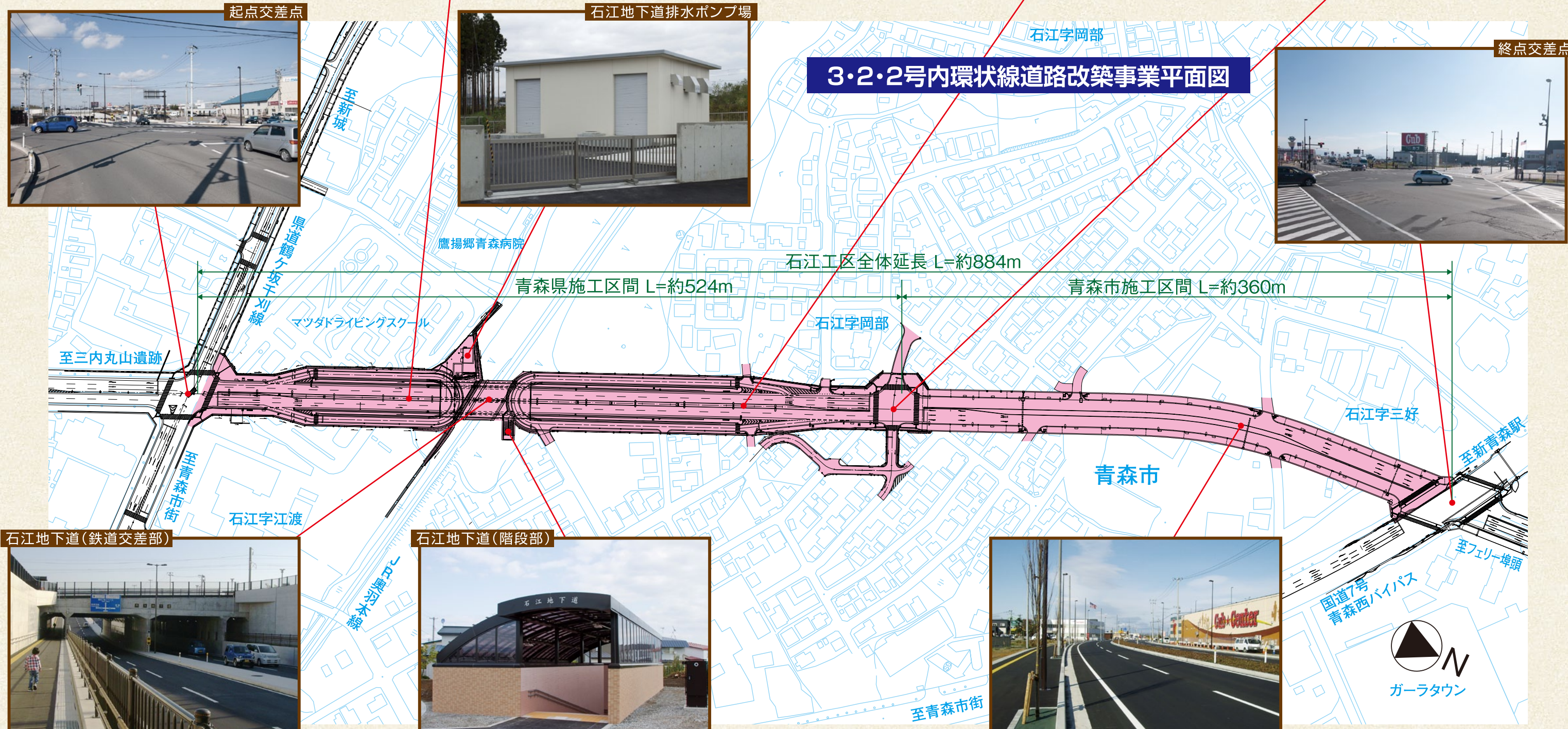
また、鉄道によって分断されていた青森市の南北市街地が直接結ばれることにより、慢性的な交通渋滞の緩和等、都市交通ネットワークの円滑化が図られます。

さらに、踏切部における交通阻害や、生活道路への大型車混入を解消し、安全・安心で暮らしやすいまちづくりに寄与します。

事業概要

- 事業名: 3・2・2号内環状線道路改築事業(石江工区)
- 事業箇所: 青森市大字石江江渡地内～大字石江字三好地内(県道鶴ヶ坂千刈線交差点～国道7号青森西バイパス交差点)
- 事業延長: 約884m
- 幅員: 車道13.0m(全幅員27～42m) 4車線 両側歩道
- 総事業費: 約104億円

- 事業経緯**
- 平成17年度 測量・調査・設計着手
 - 平成18年度 用地取得(～22年度)
 - 平成19年度 工事着手
 - 平成23年11月 供用開始(延長約884m)



観光施設へのアクセス

3・2・2号内環状線道路は、石江工区の開通により、本県観光の玄関口となる、東北新幹線新青森駅、東北自動車道青森IC、青森港フェリー埠頭と周辺の観光レクリエーション施設をつなぐメインルートとなります。



安全なみち



現道の状況

交通渋滞の現状



これまで、特に踏切のある道路において、列車の通過待ち、雪による道路幅の減少、狭い歩道、大型車の混入・すれ違い困難などが原因となり、朝夕に交通混雑が発生し、危険な箇所も見受けられました。

整備後

石江工区及の開通により…、大型バスが新青森駅北口を出発し、三内丸山遺跡、県立美術館に到着する場合、約3.4km(約10分)の短縮になります。大型トラックが、青森港フェリー埠頭を出発し、東北自動車道青森ICに到着する場合、約2.6km(約10分)の短縮になります。これまで、踏切を通過していた交通が、3・2・2号内環状線にシフトすることにより、周辺道路の混雑が緩和されます。

